

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年 11月 20日 (日)

礼拝メッセージノート

「 再臨信仰を持つ教会へ～教会生活について 」

1テサロニケ講解⑧ テサロニケ人への手紙第一 5 : 12～15 小野寺 望 牧

【 テサロニケ人への手紙第一 5章 】

- 12 兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、
- 13 その働きゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい。また、お互いに平和を保ちなさい。
- 14 兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠惰な者を諭し、小心な者を励まし、弱い者の世話をし、すべての人に対して寛容でありなさい。
- 15 だれも、悪に対して悪を返さないように気をつけ、互いの中で、またすべての人に対して、いつも善を行うように努めなさい。

(4ページへ続く)



◆ はじめに

1.再臨信仰のもとで、なお成長し続ける教会になるために

- ①テサロニケ教会の強みは、信仰成長の早さと兄弟愛。
- ②欠点は教理的理解の不足と、罪の習慣（偶像・不道德）
- ③誤りを正し、良い点をさらに伸ばして、神が喜ばれることを最善とする教会へ
 - *教会における正しい愛の行使：縦（指導者）と横（兄弟）
 - *この点において、完璧な教会は一つもない。

◆アウトライン：Ⅲ 教えと適用（4：1～5：24）

- | | |
|--------------------|-----------------|
| A.クリスチャン生活（4：1～12） | B.携拳（4：13～18） |
| C.再臨への備え（5：1～11） | D.教会生活（5：12～15） |
| E.清い生活（5：16～24） | |

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 信仰・希望・愛に支えられ～変えられた人々の群れ

*このメッセージは、携拳の具体的内容と、素晴らしさを学ぶ



I 指導者との関係（12～13節）

1.霊的指導者に敬意を

- (1) その前提：霊的指導者は忠実に主の働きをしているという理解。
 - ①指導者たちは信徒を指導し、訓戒し、教会を建て上げるわざに励んでいる。
 - ②彼ら自身が正しくみことばを理解し、健全な信仰をもって実践している。
- (2) 彼らの忠実な働きによって、再臨信仰は育まれる。
 - ①救いだけでなく、再臨信仰に立つ教会こそ、聖書的である。
 - ②忠実な指導者たちを見上げ続けることが、苦難を克服する鍵（ヘブ13：7,24）
- (3) パウロは指導者たちへの敬意を求め、願っている。
 - ①従順（1コリ16：15～16、1ペテ5：5～6）
 - ②二重の尊敬、すなわち経済的報い（1テモ5：17～19）

2.霊的指導者の働き

- (1) 教会を統治する霊的指導者の働きは、多岐に渡る。
 - ①説教や教えを語ることを通して、教会員の中で苦勞している。
 - *「コピアオー」：激しい労働を指す。
 - *リーダーの呼称（長老・監督・牧師）で、「牧師」はみことばの指導に強調点がある。
 - ②彼らは人々を深い思慮をもって指導している。
 - *「プロイステーミ」：指導、前に立つ、配慮するという意味。
 - ③彼らは信仰的に間違っている者や、罪を犯している者を正し、勧告している。

*「ニューセテオ」：心に入れるという意味。

*訓戒により立ち直らせる（1コリ5：1～13、2テサ36：14～15）

- ④その他の務め：監督する（1テモ3：1ほか）、群れを養う（1ペテ5：2）、
 - *正しい教理を守る（テト1：9、ヘブ13：17ほか）、卑し（ヤコ5：14～15）
 - *金銭的管理（使11：27～30）

(2) これらの奉仕は、肉体的にも精神的にも消耗を伴う。

- ①指導者には、教会運営についての大きな責任が伴っている（1テモ3：1～7）
- ②大きな喜びは、忠実な聖徒の働きを神に喜んで報告する時（ヘブ13：17）
- ③その責務に伴う報酬は、しばむことのない栄光の冠（1ペテ5：4）

II 兄弟同士の関係（14～15節）

1.霊的家族の役割

(1) 教会生活はお互いに責任を持ちあう共同体生活、家族生活である。

- ①相互に依存し合う。 エペ2：19～22
- ②みからだを建て上げる。 1コリ12～14章

(2) 教会運営の責任を霊的指導者に委ねるのでなく、互いに重荷を負い合うべき。

2.具体的には

(1) 怠惰な者（旧版は「気ままな者」）であってはならない。

- ①「怠惰な者」とは仕事にも就かず、怠惰な生活を送る者を指す。

*「アタクトス」は隊列を外れた者という意味。

*誤った再臨信仰が動機になっているケースもある。

- ②奉仕について

*主が下さる良いものを受けて、捧げる ヤコ1：17、1ペテ4：11

*キリストの御座において、賜物の管理（個々人）が問われる。ロマ14：10～12

(2) 小心な者を励ます 愛を用いる

- ①愛する者を失くした悲しみから立ち直れない者
- ②またこの世の迫害や誘惑に負けてしまう者など

(3) 弱い者を助ける。

- ①「弱い」とは信仰や聖書理解の未熟さを指す。②みことばを通じた信仰の確信

(4) 全ての人に寛容であること。

(5) 復讐するのではなく、いつも善を行うように。

◆まとめ：信仰・希望・愛に支えられ～変えられた人々の群れ

1.教会は…一人ひとりが互いが支え合い、作り上げるもの：自立と依存、調和

2.指導者と教会員…指導者の節度、敬意：正しい教理と愛がそこにあることが前提。

3.再臨信仰を育む…上記の土台の上に、再臨を待ち望む教会が成長することを願う。

- ①私たちは歴史のゴール（希望）を知り、世界観・価値観を変えられた者。

②変えてくださった神様の最善のみを、喜びとしよう。 2022.11.6